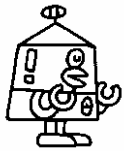


アサガオの花は、なぜ1回しかさかないの



1回しかさかない花は多いよ。アサガオの花は花びらがうすいので、日光で水分がじょう発してしぼんでしまうのさ。

花がさくのは、めしべが花粉を受け取り、たねができるようにするため

花の役目は、実やたねをつくって子孫を残すことです。だから、こん虫などに花粉をめしべの頭（柱頭）に運んでもらえれば、花は、もうとじてもいいわけです。

アサガオの花の花びらは、とてもうすいので、夏の強い日光の下では、1～2時間さくと水分がじょう発してしおれてきます。たねを作るのに大切なめしべを守るため、花びらは丸くしぼんで花にふたをし、花の中がかわくのを防ぎます。

ヘチマの花は、お花もめ花も1日しかさかず、お花はさき終わると落ちてしまい、め花はめしべを守るため、しぼんだまま、しばらくくっついていきます。

何日もさく花は、小花が集まった花や園芸用の花

セイヨウタンポポの花は、花びらの1つ1つが1個の花で、小花がたくさん集まってできています。キクやヒマワリ、コスモスなども同じなかまです。

セイヨウタンポポは、2日さく花で、1日めに外側から半分の小花がさき、2日めに全部の小花がさきます。ヒマワリは、大きな花の外側から中心に向かって、毎日少しずつさいていき、外側からたねができていきます。花が大きいので、全部さくには、何日もかかります。

園芸用に改良されてきた花のチューリップなどは、夜になると花をとじ、何日もさき続けます。

